

在セネガル日本国大使館月報

2024年12月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 1日、1944年12月1日に起きた「チャーロイの虐殺」の追悼80周年式典が開催され、ファイ大統領が出席した。ガズワニ・モーリタニア大統領、バロウ・ガンビア大統領、エンバロ・ギニアビサウ大統領、ンゲマ・ガボン大統領、アザリ・コモロ大統領、バロ・フランス外務大臣らも出席した。
(2日 Le Soleil)
- 2日、11月17日に実施された国民議会選挙を受け、第15回国民議会が発足し、マリック・ンジャイ前インフラ大臣が議長に選出された。同議会では全165議席中、与党 PASTEF が130議席を占める。(3日 Le Soleil)
- 31日、ファイ大統領は、年末の国民向け新年演説を行い、ガバナンス、若年者支援、カザマンズ地方の開発等の政策について語った。(31日 大統領府 X)

(外政)

- ファイ大統領は、アラブ首長国連邦を訪問し、5日、アール・ナヒヤーン・アブダビ首長、経済関係者らと会談した。続いて7日、第22回フォーハ・フォーラムに参加すべくカタールを訪問し、アール・サーニ首長と会談した。(5、7日 大統領府 X)

(日本関連)

- 11日、在セネガル日本国大使館は、伊澤修駐セネガル大使の離任レセプションを開催した。(14日 Le Soleil)
- 18日、在セネガル日本大使館は、セネガルに対しFRP船94隻を供与した。伊澤修駐セネガル大使が供与式に出席した。(18日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 2日、バイデン米大統領はアンゴラへ向かう途中カーボベルデ・サル島に立ち寄り、コレイア・エ・シルヴァ首相と会談し、海洋安全保障、サイバーセキュリティ、食糧安全保障等について意見交換した。(6日 Expresso das Ilhas)

ガンビア

- 15日、ECOWASの首脳会談にて、ジャメ大統領時代(1994年-2017年)に犯された人権侵害や犯罪を裁くべく特別法廷を設置することが決定された。(17日 Le Soeil)

ギニアビサウ

- 9日、エンバロ大統領はパリのエリゼ宮においてマクロン仏大統領と会談し、エネルギー転換、保健、教育、文化に関する協力に関する共同声明を発表した。(10日 O Democrata)

・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:ファル・アフリカ統合・外務大臣→ファル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 1日、1944年12月1日に起きた「チャーロイの虐殺」の追悼80周年式典が開催され、ファイ大統領が出席した。ガズワニ・モーリタニア大統領、バロウ・ガンビア大統領、エンバロ・ギニアビサウ大統領、ンゲマ・ガボン大統領、アザリ・コモロ大統領、バロ・フランス外務大臣らも出席した。(2日 Le Soleil)
- 2日、11月17日に実施された国民議会選挙を受け、第15回国民議会が発足し、マリック・ンジャイ前インフラ大臣が議長に選出された。同議会では全165議席中、与党 PASTEF が130議席を占める。(3日 Le Soleil)
- 2日、内閣改造が行われた。改造は小規模なものにとどまり、インフラ大臣及び労働・雇用大臣が交代した。(3日 Le Quotidien)
- 11日、公立学校での教員が不足しているとの現状認識から、ファイ大統領は2025年から3年間で教員の拡充を行う方針を閣議で示した。(12日 L'Observateur)
- 18日、政府は、ソンコ首相が27日に国会で施政方針演説を行うことを閣議決定した。(19日 Le Soleil)
- エコノミスト・インテリジェンス・ユニット(EIU)は、2025年世界の高成長国に関するレポートを公表し、セネガルはトップ20に入るだろうとの見通しを示した。(19日 Le Soleil)
- 31日、ファイ大統領は、年末の国民向け新年演説を行い、ガバナンス、若年者支援、カザマンズ地方の開発等の政策について語った。(31日 大統領府 X)

(外政)

二国間・多国間関係

- 2日、ファイ大統領は、セネガルを訪問中のオリギ・ンゲマ・ガボン大統領と会談し、二国間関係の強化について協議した。(2日 大統領府 X)
- ファイ大統領は、アラブ首長国連邦を訪問し、5日、アール・ナヒヤーン・アブダビ首長、経済関係者らと会談した。続いて7日、第22回フォーハ・フォーラムに参加すべくカタールを訪問し、アール・サーニ首長と会談した。(5、7日 大統領府 X)
- 10日、9-11日にヌアクショットで開催されるAU主催の教育、若者、雇用に関する会議にファイ大統領が出席し、アフリカ大陸が協力して若者に対する投資を行う必要性を強調した。また、会合の-marginでアルジェリアのテブン大統領と会談した。(11日 Le Soleil)
- 15日、ファイ大統領は ECOWAS 首脳会談に出席し、マリ、ブルキナファソ、ニジェールから成るサヘル同盟の脱退について協議した。2025年1月29日に3か国が脱退することが決まった。(16日 Le Soleil)
- ソンコ首相は、ガンビアのバロウ大統領と会談し、国境管理問題、安全保障問題、交通、天然資源の管理等について協議した。(21日 Le Soleil)

日本関連

- 3日、JICA セネガル事務所は第7回 ABE イニシアティブ修了報告会を開催した。そこで、パパ・ビラマ・チャム首相府政府事務局技術協力局長は、過去に公的セクター・民間セクターから5千人を超えるセネガル人が日本による研修の恩恵を受けたことを述べた。(4日 Le Soleil)
- 10日、伊澤駐セネガル日本大使とアブドゥラフマン・サール経済・計画・協力大臣は、対セネガル無償

資金協力「セネガル柔道連盟における機材整備計画」の交換公文に署名した。(11日 Le Soleil)

- 11日、在セネガル日本国大使館は、伊澤修駐セネガル大使の離任レセプションを開催した。(14日 Le Soleil)
- 18日、在セネガル日本大使館は、セネガルに対しFRP船94隻を供与した。伊澤修駐セネガル大使が供与式に出席した。(18日 Le Soleil)
- 25日、歌手クンバ・ガウロ氏が代表を務めるNGOは、令和5年度対セネガル草の根・人間の安全保障無償資金協力「ピキン市ピキン第17小学校増築計画」の引渡式を開催し、伊澤駐セネガル大使が出席した。(26日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- 12日、米国コロラド州の投資家から成る代表団はセネガルの実業家と投資フォーラムを開催した。同代表団は農業、再生可能エネルギー、サイバーセキュリティ分野への関心を示し、10億米ドルを投資する意向を表明した。(13日 Le Soleil、L'Observateur)

(社会)

- 17日、ジュフ高等教育大臣は、中国がセネガル人を対象とする2025/2026年度の奨学金(60名分、学士、修士、博士課程)を提供することを発表した。(18日 Le Soleil)

カーボベルデ

- 2日、バイデン米大統領はアンゴラへ向かう途中カーボベルデ・サル島に立ち寄り、コレイア・エ・シルヴァ首相と会談し、海洋安全保障、サイバーセキュリティ、食糧安全保障等について意見交換した。(6日 Expresso das Ilhas)
- 国立統計研究所は、2022年カーボベルデの出生に関するデータを公表した。2022年の出生数は7,981(前年比626減)で、出生1000件あたりの幼児死亡率は13.8(前年は12)に上昇した。(11日 Expresso das Ilhas)
- 15日、6名の医師から成る中国の医療チームは、サル島において100名に対し無償で診察を行った。中国の医療チームがカーボベルデを訪問するのは21回目となる。(15日 Expresso das Ilhas)
- 調査機関Afrobarometerは8-9月に実施した社会調査の結果を公表し、64%のカーボベルデ人が雇用問題から外国への移住を検討していることを明らかにした(2017年調査では57%)。18-35歳の若年層では76%に達した。(21日 Expresso das Ilhas)
- 31日、ネーヴェシュ大統領は新年演説を行い、社会経済の近代化、若年層支援、ガバナンス改革等に言及した。(31日 Expresso das Ilhas)

ガンビア

- 4日、在ガンビア中国大使館は、科学技術大学の工学系新卒者10名に対し、奨学金を授与する式典を開催した。(5日 The Point)
- 7日、ガンビアは、ガンビア川流域地域会合を開催した。同会合は地域統合と社会経済開発を目的に

セネガル、ギニアビサウ、ギニアがメンバーとなってガンビア川の利用について協議するものである。
(9日 The Point)

- 15日、ECOWASの首脳会談にて、ジャメ大統領時代(1994年-2017年)に犯された人権侵害や犯罪を裁くべく特別法廷を設置することが決定された。(17日 Le Soeil)
- バロウ大統領は、ケニアのルト大統領の招待によりケニア独立61周年を記念して同国を訪問し、アフリカの結びつきを強める必要性を強調した。(17日 The Point)
- 20日、ジャロウ副大統領とソンコ・セネガル首相の出席の下、第2回ガンビア・セネガル経済・貿易・投資フォーラムが2日間の予定で開幕した。(20日 The Point)
- 23日、調査機関Afrobarometerは、77%のガンビア国民が国が悪い方向に向かっていると認識しており、経済状況と政府のパフォーマンスに不満を持っているとの結果を公表した。(24日 The Point)
- 30日、バロウ大統領はセネガルのジャーニュ農業大臣を迎え、経済と文化での協力関係強化について協議した。(1月2日 The Point)
- 31日、バロウ大統領は新年演説を行い、政治、経済、教育等について語った。(1月2日 The Point)

ギニアビサウ

- 9日、エンバロ大統領はパリのエリゼ宮においてマクロン仏大統領と会談し、エネルギー転換、保健、教育、文化に関する協力に関する共同声明を発表した。(10日 O Democrata)
- 11日、UEMOAは、カナダがUEMOA協力の一環として、ギニアビサウの職業訓練と大学の制度改革に対して150万ユーロの支援を行うことを公表した。(12日 O Democrata)
- 16日、ECOWASはギニアビサウの選挙スケジュールに関する政治関係者の合意を目指すべく、ハイレベルの政治ミッションを派遣することを発表した。(17日 O Democrata)
- 31日、エンバロ大統領は、年末の国民向け演説において、社会的な団結、安定、治安、法の重要性を強調し、国内市場の統合、地域間格差の縮小、経済成長の促進等を追求していく意思を示した。(31日 O Democrata)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)